

# スマイル タウン

社会教育センターは、市民のみなさんの“やりたい”を実現し、「豊かなくらし」を応援する施設として、1969年に日野市と財団法人社会教育協会が協定書に基づいて設置しました。今月もセンターで生まれるたくさんの学びの様子をお届けします。

## 「苦手な運動がいつの間にか楽しくなる空間づくり」

鉄ぼう・とび箱教室、笑顔の写真が多い秘密にせまります！

鉄ぼう・とび箱教室には、「逆上がりが出来ない」、「とび箱がとべなくて恥ずかしい」といった体を動かす事や学校体育に対して、苦手意識を持っている子どもたちが多く参加しています。後ろ向きな気持ちで活動がスタートする子どもからすると2時間×5日間、計10時間は地獄ですね。教室では少しでも楽しく感じてもらうため、『運動が楽しいと思える空間づくり』に努めています。5日間で楽しいと感じてもらえるには鉄ぼう・とび箱を訓練することよりも、運動する時間そのものが楽しめるようになるという事が近道であり、「遊び」に近いプログラムを取り入れ、自由時間や活動時の班で、指導者と仲を深めることにも力を入れていきます。

もちろん「遊び」だけでなく、運動能力を高めるために、子どもたちそれぞれの課題を見つけていきます。ぞうきんがけ、はらばい、走る、スキップ、マット運動などの単純な動きから始め、効果的かつ効率的な動きを身に着け、整えることで、大きい動き、複雑な動きの際に現れるアンバランスさを少なくしていきます。

5日間の指導のテーマは、順に『交友↓発見↓解放↓鍛錬↓挑戦』。1日目は環境に慣れること、プログラムの流れや、友達・指導者を知ること、いわばオリエンテーション的な役割。2日目は運動することに対して楽しさや動きを新たに身につけること。3日目には環境に慣れて心を解放すること。4日

目は3日間の動きを磨いていく時間。5日目は1日目にできなかったことを挑戦する時間にあてます。このようなプロセスを踏んで、それぞれに自信をつけ、自発的に運動に取り組む姿勢を身に着けます。

また指導にあたるリーダーは定例教室・小学生スポーツ教室に関わるリーダーがほとんどで、毎週子どもへの指導に関わり、必要なスキル、子どもとの関わり方を学んでいます。

時に「とにかく出来るようになってほしい」という保護者の願いと、子どもも仕方なく参加し、目標が達成しても、これで練習しなくて済むという少しズレた喜びにつながってしまうこともあります。

子どもには楽しむことで、自分から進んで運動に取り組む気持ちを持ってほしい、保護者には、その子自身の小さな成功ひとつひとつを認めてあげてほしい、そうした想いで、私たちはこれからも努力を続けていきます。

(担当・渡邊)



▲ジャンプしながら、ぞうきんがけ！



## 「大人のドラム部」

火曜 午前9時30分～10時45分(月2回)

「では、やってみますか。」

一曲お手本で叩いた後、のんびりした口調で、会員さんにドラムの前の椅子をゆずります。

日野社会教育センターが誇る講師陣の中でも、18年という長期にわたり、ドラム教室を受け持つ講師、大澤基弘(おおさわもとひろ)先生。



▲「ドラムは誰でも演奏できる楽器ですよ。」と大澤先生。

近年、習い事のひとつとして大人気のドラム、現在小学校1年生から上は80代の方まで、26名の会員さんが習っています。そこにかくれた先生の苦勞と工夫があり、お話を伺いました。

年に一度の発表会では、課題曲の中から、本人が選び演奏していた時もありましたが、「楽器を習う」気持ちのある人は、「好きな曲」を演奏したいと思っています。そのため発表会では、「自分で選んだ好きな曲を演奏してみよう。」という流れができあがったそうです。中には難しい曲を持つてくる方もいますが、大澤先生は、楽譜をアレンジして「バージョン1」から徐々に難度をあげ、会員さんの達成目標をレベルアップしていく指導方法を編み出しました。

この作業は並大抵のことではありませんが、本人の「やりたい」気持ちに応えた結果、アレンジすることになったそうです。苦勞をにじませつつも、とても穏やかな口調で語ってくださいました。

難しい練習は、「こうやってみるとどうですか?」「では、このやり方は?」と次々と提案していきます。苦手意識があるものほど、いろいろなアプローチがあるので、簡単にできたものよりも上達する可能性がある」と先生はおっしゃいます。『教え方は誰にも教わってない』と話す先生の、試行錯誤して作り上げてきた想いが伝わる温かい講座です。

裏面には、会員の皆さんへのインタビューです。

**新春のつどい**  
 2019年1月20日(日)  
 午後1時より  
 会場：TreeHALL  
 (TomorrowPLAZA 2階)  
 会費：1,000円  
 皆様のご参加を  
 お待ちしております。

# 新館タイムズ

新館建設の「いま」をお届け

早いもので、今年も残り1カ月をきりました。師走の忙しさに、てんやわんやの毎日です。今年2月末より建設していた、新館工事も11月末をもって完工。建物としては完成し、あとは引越し、来年4月のスタートを待つこととなりました。市民の皆様をむかえる準備としては、引越越し計画、館内の什器そろえやロッカーの取り



▲明るい料理室。  
腕に磨きがかかる！かも!?

▼外観・1Fロビーから外に出られるウッドデッキは、皆さんの憩いの場になるといいですね。



発表会では大好きなアーティストのエレフアントカシマシの曲に毎年チャレンジ。次回も「もちろん♡」と、張り切って練習中です。



「2年前の、同期入会なんです」という高橋さんと鶴田(つるだ)さん。



「大人のドラム部」受講の皆さんにインタビューしました。

高橋さんは、子育てがひと段落して、ドラムを習いたいと探しあてたドラム教室がこちらでした。先生の優しさと、一緒に習っている会員さん同志の雰囲気も心地よく、通い続けています。



「ドラム発表会」は子どもから大人まですべての会員さんが出演します。来春3月17日(日)、ぜひお越し下さい♪



「初めてでも、楽譜が読めなくても、大丈夫。家事の気分転換に!」というキャッチフレーズに惹かれ、習い始めた鶴田さんは、介護をしている中での参加。まさに発散の場だそうで、叩いているときは何も考えずとても楽しい時間とのこと。曲選びは先生にお任せし、2年連続でビートルズの「イエスタデイ」を演奏。元々ドラムのパートの無い曲に、先生がアレンジで入れてくれ、とても気に入っているそうです。(取材・野口)

「初めてでも、楽譜が読めなくても、大丈夫。家事の気分転換に!」というキャッチフレーズに惹かれ、習い始めた鶴田さんは、介護をしている中での参加。まさに発散の場だそうで、叩いているときは何も考えずとても楽しい時間とのこと。曲選びは先生にお任せし、2年連続でビートルズの「イエスタデイ」を演奏。元々ドラムのパートの無い曲に、先生がアレンジで入れてくれ、とても気に入っているそうです。(取材・野口)



学習支援施設「ほっとも」  
 受験勉強も佳境に突入!

2016年から事業を行っている「ほっとも」は、みんなで学び直しのできるところで、小学生・中学生が居場所として集まり、これまでわからなかったところの勉強の復習をしたり、ノートの取り方などのコツを学んだりしながら活動をしています。

現在、「ほっとも」には受験生が6名在籍しています。受験本番に向け、勉強も佳境に入ってきました。定例の火曜日・木曜日の時間帯に加え、土、日には自習学習ができるように、教室を開放して、継続的に学習を続けられるように環境を整えて学習しています。この半年間、生徒たちの勉強に取り組む意識が変わってきていて、短い時間でも、すぐに集中して取り組めるようになってきています。中には勉強することが、面白くなってきた生徒もあり、これまで以上に毎日数時間も熱心に取り組んでいると聞いています。

都立高校の受験は、年明けの2月が本番。体調管理も含め、本番で努力が実るように、ラストスパート、生徒とスタッフ一丸となって、頑張ってください! (担当・阿部)



▲体調管理に気をつけて、ラストスパートがんばれ!



賛助会へのご協力 ありがとうございます

★年会費 (順不同・敬称略 10/1~10/31)

- ①個人会員 1口 1,000  
綾部弘 20口 須藤伸彦 10口  
池上洋通 10口
- ②団体会員 1口 5,000円

※日野社会教育センターへの支援と事業の普及、開かれた運営と経営の安定をはかるため皆様のご加入をお願いします。

新館建設寄付者ご芳名 10/1~10/31 ご寄付いただいた方

※都合によりお載せしていない方もおられます。

株式会社エヌケートラベル 田村操

(順不同・敬称略)



おかげさまで  
2,000万円!!

現在の募金総額 10/31 現在  
353名+募金箱

¥21,304,221-